



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

2020年10月14日朝刊 中部版

魚まち文化 理解深める

焼津市の焼津水産高は13日、焼津の漁業、水産加工業発祥の地「浜通り」を散策し、地域の歴史を学ぶ実習授業を行った。流通情報科の2年生17人が参加し、魚まちの文化に理解を深めた。

水産加工業の 発祥の地散策

同市の観光ボランティアガイド「やいづ観光案内人の会」が案内した。生徒が最初に訪れたのは、古くから漁師の信仰を集めてきた船玉神社。地元で「ぶなだまさん」と呼ばれて親しまれていることなどを学んだ。

このほか、晩年に浜通りを訪れた明治時代（焼津支局・尾原宗也

焼津水産高2年生 実習授業



焼津の漁業の歴史
について学ぶ生徒
焼津市の船玉神
社

- ①焼津の漁業、水産加工業発祥の地は何通りと言いますか。()
- ②晩年によく焼津を訪れた明治時代の作家は誰ですか。()
- ③生徒を案内したのはどんな人たちですか。()
- ④見出しにある「魚まち文化」とはどのようなことですか。記事を参考に書きましょう。()

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、高校／社会、総合)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2020年10月14日朝刊 中部版

同市の観光ボランティアガイド「やいづ観光案内人の会」が案内した。生徒が最初に訪れたのは、古くから漁師の信仰を集めてきた船玉神社。地元で「ぶなだまさん」と呼ばれて親しまれていることなどを学んだ。

このほか、晩年に浜通りを訪れた明治時代（焼津支局・尾原宗也）

水産加工業の 発祥の地散策

焼津市の焼津水産高は13日、焼津の漁業、水産加工業発祥の地「浜通り」を散策し、地域の歴史を学ぶ実習授業を行った。流通情報科の2年生17人が参加し、魚まちの文化に理解を深めた。

魚まち文化 理解深める

焼津水産高2年生 実習授業



焼津の漁業の歴史
について学ぶ生徒
焼津市の船玉神
社

- ①焼津の漁業、水産加工業発祥の地は何通りと言いますか。(**浜通り**)
- ②晩年によく焼津を訪れた明治時代の作家は誰ですか。(**小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)**)
- ③生徒を案内したのはどんな人たちですか。
(**やいづ観光案内人の会**)
- ④見出しにある「魚まち文化」とはどのようなことですか。記事を参考に書きましょう。

(例) 漁業や水産加工業が盛んな町に特有の文化 漁業や水産加工業に関係の深い文化
浜の暮らしに関係の深い信仰や災害対策、文化人など など

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、高校/社会、総合)